

2023年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年5月11日
上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社
コード番号 3769 URL <https://www.gmo-pg.com/corp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成
問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）
（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	30,454	26.6	10,350	25.1	9,856	13.4	6,292	12.1	6,129	11.1	5,154	△58.2
2022年9月期第2四半期	24,059	21.0	8,276	25.5	8,691	30.9	5,615	32.0	5,518	32.4	12,324	165.1

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2023年9月期第2四半期	80	81	80	02
2022年9月期第2四半期	72	77	72	10

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	295,556	82,272	79,935	27.0
2022年9月期	273,407	89,260	87,122	31.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年 9 月期	0.00	0.00	0.00	160.00	160.00
2023年 9 月期	0.00	0.00			
2023年 9 月期(予想)			0.00	82.00	82.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1 株当たり 当期利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	59, 100	17. 5	20, 311	25. 0	18, 837	△45. 8	12, 635	△48. 1	12, 368	△48. 8	163. 08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期2Q	76,557,545株	2022年9月期	76,557,545株
2023年9月期2Q	715,071株	2022年9月期	714,996株
2023年9月期2Q	75,842,492株	2022年9月期2Q	75,842,549株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託 (J-ESOP) の所有する当社株式が含まれております (2022年9月期 709,705株、2023年9月期2Q 709,705株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、2023年5月12日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
① 現金及び現金同等物	15
② 営業債権及びその他の債権	15
③ 関係会社預け金	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

① 連結経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間（2022年10月1日～2023年3月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	増減率 (%)
売上収益	24,059,689	30,454,383	26.6
営業利益	8,276,188	10,350,230	25.1
税引前四半期利益	8,691,427	9,856,370	13.4
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	5,518,861	6,129,098	11.1

a. 売上収益

売上収益は30,454,383千円（前年同期比26.6%増）となりました。オンライン課金分野、継続課金分野、対面分野と「GM0後払い」合計の決済処理件数は前年同期比29.2%増、決済処理金額は前年同期比35.2%増となり、決済代行事業の売上収益は23,070,074千円（前年同期比28.5%増）、金融関連事業の売上収益は6,879,418千円（前年同期比21.3%増）、決済活性化事業の売上収益は515,165千円（前年同期比12.7%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 ② セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。

(単位：千円)

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	3,163,554	5,275,587	66.8
ストック (固定費売上)	3,799,000	4,526,686	19.2
フィー (処理料売上)	6,428,423	8,568,672	33.3
スプレッド (加盟店売上)	10,668,709	12,083,437	13.3
合計	24,059,689	30,454,383	26.6

b. 営業利益

営業利益は10,350,230千円（前年同期比25.1%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。

決済代行事業のセグメント利益（営業利益）は10,341,836千円（前年同期比17.5%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は1,479,802千円（前年同期比2.2%増）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は113,941千円（前年同期比13.4%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は9,856,370千円（前年同期比13.4%増）となり、当第2四半期連結累計期間の営業利益が前年同期比25.1%増だったのに対し、税引前四半期利益は前年同期比13.4%増となりました。これは主に受取利息438,132千円により金融収益が462,285千円計上された一方、為替差損526,716千円、投資事業組合運用損287,629千円により金融費用が953,859千円計上されたことによるものです。

② セグメントの業績状況

セグメントの業績は、以下のとおりです。

（単位：千円）

セグメント別	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年10月1日 至 2022年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）	増減率（%）
決済代行事業 売上収益 セグメント損益（△は損失）	17,951,542 8,803,046	23,070,074 10,341,836	28.5 17.5
金融関連事業 売上収益 セグメント損益（△は損失）	5,669,128 1,448,543	6,879,418 1,479,802	21.3 2.2
決済活性化事業 売上収益 セグメント損益（△は損失）	457,042 100,489	515,165 113,941	12.7 13.4
調整額 売上収益 セグメント損益（△は損失）	△18,023 △2,075,891	△10,274 △1,585,350	— —
合計 売上収益 セグメント損益（△は損失）	24,059,689 8,276,188	30,454,383 10,350,230	26.6 25.1

a. 決済代行事業

決済代行事業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援の拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力しております。

当第2四半期連結累計期間のオンライン課金分野・継続課金分野は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大時の巣籠消費におけるインターネット利用の定着に伴い、引き続き日用品、デジタルコンテンツや公金・公共料金等のオンライン決済が増加し、またDX需要の高まりから新しい業態のオンライン決済も伸長しました。また、経済活動の正常化に向けた動きに伴い外出機会が増加したことから、特に非物販領域において旅行やチケットの決済が伸長しました。一方、物販領域においては大規模事業者等一部加盟店に回復の傾向が見られるものの、小規模事業者においては巣籠需要の反動や対面消費への移行により依然マイナスの影響を受けております。

当第2四半期連結累計期間における対面分野は、キャッシュレス決済のニーズの高まりから市場の拡大が進んだことや大口案件の決済端末出荷及び設置本格化に伴い「stera」をはじめとする端末販売が引き続き伸長したことに加え、経済活動の正常化に向けた動きが加速したことや訪日外国人数の増加によるインバウンド需要が一定程度寄与したことにより決済処理件数・金額とも好調に推移いたしました。

さらに、決済のキャッシュレス化やDX（デジタルトランスフォーメーション）ニーズの拡大を捉えた金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援では、プロセッシングプラットフォームサービスの拡大により、成長が加速し収益貢献いたしました。

以上の結果、売上収益は23,070,074千円（前年同期比28.5%増）となりましたが、一時的な費用の発生により、セグメント利益（営業利益）は10,341,836千円（前年同期比17.5%増）となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業（マネーサービスビジネス：MSB）については、加盟店のキャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービス、送金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGM0」のほか、連結子会社であるGM0ペイメントサービス株式会社を通じて「GM0後払い」を提供しております。

当第2四半期連結累計期間において、決済サービスである「GM0後払い」は物販領域における巣籠需要の反動等のマイナス影響は残るものの、大手加盟店獲得に加え手数料改定の影響もあり売上収益は伸長いたしました。また、送金サービスや「即給 byGM0」も取扱件数が順調に推移しております。

以上の結果、売上収益は6,879,418千円（前年同期比21.3%増）となりましたが、「GM0後払い」の与信関連コストの増加と当セグメントの売上構成の変化によりセグメント利益（営業利益）は1,479,802千円（前年同期比2.2%増）となりました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、当社グループ加盟店の売上向上に繋がるマーケティング支援サービスや、連結子会社であるGM0医療予約技術研究所株式会社を通じて医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGM0」等を提供しております。

当第2四半期連結累計期間において、GM0医療予約技術研究所株式会社が提供する予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるサービスや、複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスへの需要の高まり等から売上収益は好調に推移いたしました。一方、顧客需要の減少によりマーケティング支援サービスは減収となっております。

以上の結果、売上収益は515,165千円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益（営業利益）は113,941千円（前年同期比13.4%増）となりました。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行業	決済代行サービス (オンライン課金・継続課金)	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	決済代行サービス (対面)	GM0フィナンシャルゲート株式会社（連結子会社）
金融関連事業	GM0後払い	GM0ペイメントサービス株式会社（連結子会社）
	送金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	トランザクションレンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
	海外レンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	早期入金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社（連結子会社）
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGM0	GM0医療予約技術研究所株式会社（連結子会社）

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の概況

a. 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ22,149,422千円増加し、295,556,601千円となりました。これは主に関係会社預け金11,200,000千円、その他の金融資産4,749,787千円減少した一方、現金及び現金同等物22,438,542千円、営業債権及びその他の債権4,528,381千円、前渡金5,349,818千円、未収入金2,675,570千円、棚卸資産1,611,996千円、のれん及び無形資産1,532,770千円増加したことによるものです。

「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 ① 現金及び現金同等物」に記載したとおり、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物には関係会社預け金が6,080,000千円含まれており、要約四半期連結財政状態計算書上の関係会社預け金5,300,000千円と合わせると、関係会社預け金の残高は11,380,000千円となっております。これはGM0インターネットグループがグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステム(以下、「CMS」という。)を利用し、手元資金を預け入れたものです。そのため、当社グループにおいて事業の進捗に伴って資金需要が増大した際には、CMSの返済期日が到来していなくても、所定の日数より前に申請することで、随時資金を引き出すことが可能です。

b. 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ29,137,079千円増加し、213,283,606千円となりました。これは主に未払法人所得税等1,735,611千円減少した一方、未払金1,917,445千円、預り金25,185,200千円、借入金4,150,000千円増加したことによるものです。

c. 資本

当第2四半期連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ6,987,657千円減少し、82,272,994千円となりました。これは主に四半期利益6,292,805千円の計上により増加した一方、その他の包括利益1,138,168千円、剰余金の配当12,134,807千円により減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、期首残高に比べ22,438,542千円増加し、136,406,472千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は18,625,500千円(前年同期は19,682,247千円の獲得)となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の増加5,059,409千円、前渡金の増加5,349,818千円、未収入金の増加2,675,833千円、法人所得税の支払額5,310,850千円により資金が減少した一方、税引前四半期利益9,856,370千円、未払金の増加2,232,829千円、預り金の増加25,186,724千円により資金が増加したものです。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は12,904,208千円(前年同期は12,867,059千円の使用)となりました。これは主に拘束性預金の預入による支出9,088,620千円、無形資産の取得による支出2,179,039千円、関係会社預け金の預入による支出5,300,000千円により資金が減少した一方、拘束性預金の払戻による収入13,763,269千円、関係会社預け金の払戻による収入16,500,000千円により資金が増加したものです。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は8,338,924千円(前年同期は516,463千円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純増加額1,700,000千円、長期借入れによる収入2,450,000千円により資金が増加した一方、配当金の支払額12,121,488千円により資金が減少したものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する電子商取引（EC）市場は、経済活動の正常化に伴い物販領域の消費者向け（BtoC）ECは足元停滞傾向にあります。また、物流の改革等外部環境の変化による利用拡大を受け中長期的には成長の継続を見込んでおります。また、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金等の公金、医療等の生活に密着した分野等における決済のオンライン化は着実に進行し、今後も高成長の継続が見込まれております。加えて、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化等、ECの領域自体も拡大しております。

連結子会社であるGM0フィナンシャルゲート株式会社が立脚する対面市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた決済のキャッシュレス化加速の機運も高まっており、新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2023年9月期の事業環境については、経済活動の正常化やインバウンド（訪日外国人）消費の回復、企業の賃上げ機運の高まりが見られる一方、金融資本市場の変動や原材料価格の高騰等に伴う物価上昇並びに実質賃金の減少により、民間消費全般の見通しには依然として不透明感があり、当社グループの事業においては、物販領域のオンライン決済において当面マイナスの影響が残るものと見込んでおります。一方でユーティリティ等の非物販領域はマクロ経済の影響を受けにくい特徴があることに加え、業種毎DXプラットフォーム、金融機関や事業者等に対するBaaS（Banking as a Service）支援、次世代決済プラットフォーム「stera」等の重点施策が順調に拡大していることから当社グループの売上収益計画に対し影響は軽微であると想定しております。また、一時的に発生した費用に対しても一部経費の抑制等の対応を進めております。

2023年9月期の通期連結業績予想については、売上収益59,100百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益20,311百万円（前年同期比25.0%増）を見込んでおります。なお、税引前利益以下の各利益につきましては、前連結会計年度において、主に持分法適用関連会社であった2C2P Pte. Ltd. の全株式を譲渡したことにより持分法による投資の売却益16,932百万円が計上されていたことから、税引前利益18,837百万円（前年同期比45.8%減）、当期利益12,635百万円（前年同期比48.1%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益12,368百万円（前年同期比48.8%減）を見込んでおります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	①	113,967,930	136,406,472
営業債権及びその他の債権	②	13,964,116	19,282,874
前渡金		54,422,846	59,772,664
未収入金		30,331,694	33,007,264
棚卸資産		1,532,298	3,144,295
関係会社預け金	③	16,500,000	5,300,000
その他の金融資産		12,917,180	7,956,009
その他の流動資産		620,923	959,779
流動資産合計		244,256,990	265,829,360
非流動資産			
有形固定資産		3,542,380	3,558,303
のれん及び無形資産		6,942,428	8,475,199
持分法で会計処理されている投資		8,608,123	8,249,386
営業債権及びその他の債権	②	3,501,426	2,711,049
その他の金融資産		5,095,976	5,307,360
繰延税金資産		1,342,570	1,347,229
その他の非流動資産		117,283	78,712
非流動資産合計		29,150,189	29,727,240
資産合計		273,407,179	295,556,601

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金		5,595,583	6,981,197
未払金		23,280,877	25,198,323
預り金		91,410,677	116,595,878
借入金		17,000,000	18,925,000
その他の金融負債		1,014,590	466,455
未払法人所得税等		4,916,655	3,181,043
引当金		320,229	539,698
その他の流動負債		4,281,866	3,447,453
流動負債合計		147,820,480	175,335,050
非流動負債			
社債		19,678,403	19,720,974
借入金		6,000,000	8,225,000
その他の金融負債		2,342,950	2,212,908
引当金		130,576	130,685
繰延税金負債		5,642,475	5,619,399
その他の非流動負債		2,531,640	2,039,587
非流動負債合計		36,326,046	37,948,556
負債合計		184,146,527	213,283,606
資本			
資本金		13,323,135	13,323,135
資本剰余金		15,272,474	15,227,481
利益剰余金		49,424,496	43,414,417
自己株式		△1,152,444	△1,153,329
その他の資本の構成要素		10,255,198	9,124,078
親会社の所有者に帰属する持分合計		87,122,860	79,935,783
非支配持分		2,137,790	2,337,210
資本合計		89,260,651	82,272,994
負債及び資本合計		273,407,179	295,556,601

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上収益		24,059,689	30,454,383
(うち、金利収益※)		4,582,358	5,573,649
売上原価		△7,706,016	△10,845,249
売上総利益		16,353,672	19,609,134
その他の収益		122,895	138,085
販売費及び一般管理費		△8,184,360	△9,361,960
その他の費用		△16,019	△35,029
営業利益		8,276,188	10,350,230
金融収益		551,127	462,285
金融費用		△112,382	△953,859
持分法による投資損益 (△は損失)		△23,506	△2,285
税引前四半期利益		8,691,427	9,856,370
法人所得税費用		△3,076,122	△3,563,564
四半期利益		5,615,305	6,292,805
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		5,518,861	6,129,098
非支配持分		96,443	163,707
四半期利益		5,615,305	6,292,805
1株当たり四半期利益 (円)			
基本的1株当たり四半期利益		72.77	80.81
希薄化後1株当たり四半期利益		72.10	80.02

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期利益	5,615,305	6,292,805
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	996,386	45,157
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	4,876,769	△119,218
純損益に振り替えられることのない 項目合計	5,873,155	△74,061
純損益に振り替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	785,602	△1,064,106
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	50,258	—
純損益に振り替えられることのある 項目合計	835,860	△1,064,106
税引後その他の包括利益	6,709,016	△1,138,168
四半期包括利益	12,324,321	5,154,636
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,228,272	4,997,978
非支配持分	96,048	156,658
合計	12,324,321	5,154,636

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高		13,323,135	15,191,927	26,546,151	△1,152,444	1,937,175	55,845,946	1,974,433	57,820,379
四半期利益		—	—	5,518,861	—	—	5,518,861	96,443	5,615,305
その他の包括利益		—	—	—	—	6,709,410	6,709,410	△394	6,709,016
四半期包括利益		—	—	5,518,861	—	6,709,410	12,228,272	96,048	12,324,321
配当金		—	—	△4,474,710	—	—	△4,474,710	—	△4,474,710
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△89,232	△89,232
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	1,017,899	—	△1,017,899	—	—	—
株式報酬取引		—	57,013	—	—	△399	56,614	—	56,614
支配継続子会社に対する 持分変動		—	△49,103	—	—	—	△49,103	26,072	△23,030
その他の増減		—	—	—	△718	—	△718	—	△718
所有者との取引額合計		—	7,909	△3,456,810	△718	△1,018,299	△4,467,918	△63,160	△4,531,078
2022年3月31日時点の残高		13,323,135	15,199,837	28,608,203	△1,153,163	7,628,287	63,606,300	2,007,321	65,613,622

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高		13,323,135	15,272,474	49,424,496	△1,152,444	10,255,198	87,122,860	2,137,790	89,260,651
四半期利益		—	—	6,129,098	—	—	6,129,098	163,707	6,292,805
その他の包括利益		—	—	—	—	△1,131,119	△1,131,119	△7,049	△1,138,168
四半期包括利益		—	—	6,129,098	—	△1,131,119	4,997,978	156,658	5,154,636
自己株式の取得		—	—	—	△884	—	△884	—	△884
配当金		—	—	△12,134,807	—	—	△12,134,807	—	△12,134,807
非支配株主への配当金		—	—	—	—	—	—	△102,856	△102,856
株式報酬取引		—	22,393	—	—	—	22,393	—	22,393
支配継続子会社に対する 持分変動		—	△67,386	—	—	—	△67,386	145,618	78,231
その他の増減		—	—	△4,369	—	—	△4,369	—	△4,369
所有者との取引額合計		—	△44,993	△12,139,177	△884	—	△12,185,055	42,761	△12,142,294
2023年3月31日時点の残高		13,323,135	15,227,481	43,414,417	△1,153,329	9,124,078	79,935,783	2,337,210	82,272,994

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,691,427	9,856,370
減価償却費及び償却費	1,021,694	1,167,932
金融収益及び金融費用(△は益)	△438,745	491,573
持分法による投資損益(△は益)	23,506	2,285
棚卸資産の増減額(△は増加)	△867,676	△1,611,996
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△844,580	△5,059,409
前渡金の増減(△は増加)	△3,953,395	△5,349,818
未収入金の増減(△は増加)	△3,639,455	△2,675,833
買掛金の増減(△は減少)	468,559	1,362,305
未払金の増減(△は減少)	2,153,681	2,232,829
預り金の増減(△は減少)	20,430,508	25,186,724
その他の流動負債の増減(△は減少)	△291,264	△1,113,538
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	31,601	△461,552
その他	△185,113	△427,855
小計	22,600,748	23,600,018
利息及び配当金の受取額	68,496	407,769
利息の支払額	△44,319	△71,437
法人所得税の支払額	△2,942,677	△5,310,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,682,247	18,625,500
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の預入による支出	—	△9,088,620
拘束性預金の払戻による収入	—	13,763,269
有形固定資産の取得による支出	△156,798	△350,731
無形資産の取得による支出	△1,148,108	△2,179,039
投資有価証券の取得による支出	△168,864	△570,754
投資有価証券の売却による収入	3,519,837	—
持分法で会計処理されている投資の取 得による支出	△500,000	—
投資事業組合からの分配による収入	256,352	150,582
関係会社預け金の預入による支出	△16,500,000	△5,300,000
関係会社預け金の払戻による収入	2,000,000	16,500,000
その他の金融資産の取得による支出	△30,662	△30,417
その他の金融資産の売却による収入	7,533	402
その他	△146,348	9,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,867,059	12,904,208

(単位：千円)

	注記	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		4,500,000	1,700,000
長期借入れによる収入		—	2,450,000
長期借入金の返済による支出		△158,515	—
配当金の支払額		△4,471,376	△12,121,488
非支配株主への配当金の支払額		△89,232	△102,856
非支配持分からの払込による収入		25,080	23,890
その他		△322,420	△288,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		△516,463	△8,338,924
現金及び現金同等物に係る換算差額		384,165	△752,242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		6,682,890	22,438,542
現金及び現金同等物の期首残高	①	104,523,965	113,967,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	①	111,206,855	136,406,472

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

① 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
現金及び預金	109,337,930	130,326,472
関係会社預け金	4,630,000	6,080,000
合計	113,967,930	136,406,472

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
売掛金	6,454,035	8,187,529
営業貸付金	10,677,593	13,434,379
その他	457,134	507,749
貸倒引当金	△123,220	△135,734
合計	17,465,542	21,993,924
流動資産	13,964,116	19,282,874
非流動資産	3,501,426	2,711,049
合計	17,465,542	21,993,924

③ 関係会社預け金

関係会社預け金はGM0インターネットグループのCMSによる預け金です。